

子どもが創る 多摩市の未来

令和7年度多摩市子ども未来会議 提案への回答集



Toward the Future, 2050



令和8年9月
多摩市
多摩市教育委員会

各校ページ(P4~19)の見方

- ①学校名
- ②学校の取組に関連するSDGs（持続可能な開発目標）
- ③学校の提案
- ④当日の発表スライド（抜粋）

③

①

和田中学校

②

街をきれいにするために、ゴミの分別について多摩市のSNSを活用した意識啓発！

[一年生 ～調べ学習について～]

内容

「多摩市の取り組み」

「SDGs 17の目標」について、自分達が住んでいる多摩市の取り組みを通じて知る。

[二年生 ～身近なものの作成～]

作成物

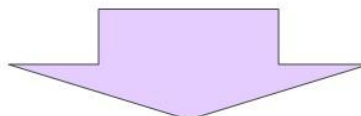
「新聞ゴミ箱」

「SDGs 17の目標」に関連する、自分達に身近なものを作成し、関心を持つ。

どんな取り組みが行われている？
私たちには何ができる？
↓
循環型社会への意識を高められた

⑤ 生徒からの提案

〇ごみの分別が出来ていない、やり方が分からないという市民の意見が多いとのことから、市公式SNSで、ごみの分別をよびかけてほしい



⑥ 提案に対する多摩市の回答

ご提案ありがとうございます。

これまでも、ごみの分別については、「ごみ・資源収集カレンダー」を始め、多摩市の公式SNS(XとLINE)やごみ分別アプリ「さんあ〜る」などの他、公式ホームページやたま広報、YouTube動画など様々な媒体を活用して市民の皆さんに呼びかけを行ってきました。また、市内イベントでの展示や分別クイズ、学校での出前授業や、地域に向いての出前説明会など、対面でのPRも積極的に行っています。

今後はこれらの媒体の活用についてもお知らせをして、特に、問い合わせの多い品目や話題になっている品目などをピックアップして呼びかけを行うなど、誰にでも分かるような工夫をして、ごみの分別・資源循環の呼びかけをしていきたいと思います。

資源を有効活用し、環境への負荷や処理費用を軽減するためにも、ごみの分別方法を簡単に調べられるようにして、和田中学校の皆さんをはじめ、市民の皆さんにごみ分別へのご協力をお願いしていきます。

【回答：資源循環推進課】



さんあ〜るアイコン



4

⑤具体的な提案

⑥提案に対する市の考えや現在の取組、今後の対応など

今を大切に 全員が自分らしく生きられる環境を作ろう

多摩市
市長 阿部 裕行



多摩市では、子ども・若者の皆さんの声を大切に、大人の目線だけでなく、社会の一員である皆さんと共にまちづくりを進めています。

「令和7年度多摩市子どもみらい会議」では、皆さんが一生懸命E S Dに取り組んできたことをもとに、「2050年の多摩市のために私たちにできること～SDGsの達成に向けて何をすべきか～」をテーマに真剣に話し合い、考え出した多くの提案と「今を大切に 全員が自分らしく 生きられる環境を作ろう」という素晴らしいメッセージを発信していただきました。

皆さんからの提案とメッセージは全て、多摩市の職員と共にしっかりと受け止めました。そして、提案に対して何ができるかを多摩市の職員みんなで考え、話し合っこの冊子に回答をまとめました。大人の考えだけでなく、皆さんが主役となって「こんなことができたならもっと良くなる」「こんなまちにしたい」と提案をしてくれることが、多摩市をより良いまちにしていけるための大きな力になります。今回、皆さんからいただいた提案やアイデアは、これからのまちづくりに活かしていきます。

また、皆さんが発信したメッセージにあるように、よりよい未来のためにも、誰もが「今」というこの瞬間を自分らしく過ごせる環境はなくてはならないものです。全員が自分らしく生きられる環境、誰一人取り残さないまちづくりを進めることを、改めて決意しました。

ぜひ、皆さんも「今」を大切に、全ての人が自分らしく生きられる環境のためにできること、2050年の多摩市のためにできることを考えて、SDGsに取り組んでみてください。皆さんが「このまちに住んでよかった」「これからもずっと住み続けたい」と思える未来を、一緒につくっていったらうれしいです。

皆さんの活躍を心より応援しています。

このたびは、素晴らしい提案とメッセージをありがとうございました。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



提案への回答集 目次

Contents

1. 各校ページ(P4～19)の見方	1
--------------------	---

2. はじめに	2
---------	---

阿部 裕行 多摩市長

3. 目次	3
-------	---

4. 令和7年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答	4
-------------------------------	---

(1) 和田中学校区

① 和田中学校	5
---------	---

② 多摩第二小学校	6
-----------	---

③ コラム①「個別避難計画ってなあに？」	7
----------------------	---

(2) 多摩永山中学校区

① 多摩永山中学校	9
-----------	---

② 永山小学校	12
---------	----

③ 瓜生小学校	13
---------	----

④ コラム②「シビックプライドってなんだろう？」	15
--------------------------	----

(3) 落合中学校区

① 落合中学校	17
---------	----

② 西落合小学校	18
----------	----

③ 東落合小学校	19
----------	----

④ コラム③「子若条例ってなあに？」「ぼくたち、わたしたちの「権利」って？」	20
--	----



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS



令和7年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



和田中学校



多摩第二小学校



和田中学校区

[一年生 ～調べ学習について～]

内容

「多摩市の取り組み」

「SDGs 17の目標」について、自分達が住んでいる多摩市の取り組みを通じて知る。



[二年生 ～身近なものの作成～]

作成物

「新聞ゴミ箱」

「SDGs 17の目標」に関連する、自分達に身近なものを作成し、関心を持つ。



どんな取り組みが行われている？
私たちには何が出来る？

↓
循環型社会への意識を高められた

生徒からの提案

〇ごみの分別ができていない、やり方が分からないという市民の意見が多いとのことから、市公式SNSで、ごみの分別を呼びかけてほしい

提案に対する多摩市の回答

ご提案ありがとうございます。

これまで、ごみの分別については、「ごみ・資源収集カレンダー」をはじめ、多摩市の公式SNS(XとLINE)やごみ分別アプリ「さんあ〜る」などの他、公式ホームページやたま広報、YouTube動画などさまざまな媒体を活用して市民の皆さんに呼びかけを行ってきました。また、市内イベントでの展示や分別クイズ、学校での出前授業や、地域に出向いての出前説明会など、対面でのPRも積極的に行っています。

今後はこれらの媒体の活用についてもお知らせをして、特に、問い合わせの多い品目や話題になっている品目などをピックアップして呼びかけを行うなど、誰にでも分かるような工夫をして、ごみの分別・資源循環の呼びかけをしていきたいと思ひます。

資源を有効活用し、環境への負荷や処理費用を軽減するためにも、ごみの分別方法を簡単に調べられるようにして、和田中学校の皆さんをはじめ、市民の皆さんにごみの分別へのご協力をお願いしていきます。

【回答：資源循環推進課】



さんあ〜るアイコン



防災の街を目指して、安全・安心な避難のために、近所の人たちの不自由をアンケートで把握し、意識を啓発する。

①多摩二小の避難訓練の課題

4

自分ごととしてとらえていない

- ・ 整列
- ・ 判断
- ・ 避難経路

大人がいなくても、自分たちで避難できるのか…

自分たちの避難の様子を見てみた

11

- 1 防災頭巾の扱い
- 2 特別教室等からの避難
- 3 整列・人数確認
- 4 身の守り方の工夫



⑥私たちにできることを考えた

18

【個人】

- ・ 安全な避難
- ・ 訓練
- ・ 防災バッグ
- ・ 動きの確認
- ・ 学習発表会で
学んだことを伝える

児童からの提案

- ①避難所で、障害のある方・高齢者・ペットがいる方などだれもが安心して過ごせるようにしてほしい
- ②市の防災訓練に多くの方が参加できるように呼びかけてほしい
- ③(防災の観点で)より安心して住み続けられるまちにほしい
- ④近所の人の状況をアンケートで把握した上で、安全に避難できるようにしてほしい

提案に対する多摩市の回答

①多摩市では、自分の家が安全なら自分の家での避難生活を勧めています。避難所生活で、障がいのある方や高齢者などの配慮が必要な方、ペットがいる方などだれもが安心して過ごせるようにすることはとても大切です。多摩市では、避難所に配慮が必要な方のスペースや専用の避難所、ペットのスペースをつくることとしています。

②災害を減らすためには、平常時にいかに備えをしておくかが鍵となることから、多くの方に防災訓練への参加を呼びかけることはとても良い提案だと思います。多摩市の総合防災訓練では、令和4年度から住民の方が中心となった訓練を始めていて、多摩市全域で訓練ができるように年々、訓練エリアを拡大しているところです。



▲もののけコレクトの様子

また、スマートフォンのアプリで「もののけ」化したまちの危険スポット(水害、土砂災害など)を発見する、体験イベント「もののけコレクト」を開催するなど、防災訓練以外でも防災について学べるように工夫をしています。

③より安心して住み続けられるまちにするためには、市民の皆さんや地域の皆さん、そして市や防災機関など、それぞれの役割の中で取り組んでいくことが大切です。より安心して住み続けられるまちを目指して、一緒に取り組んで行きましょう！

④配慮が必要な方が安全に避難する可能性を高めるためには、事前にその情報を知っておくことが大切です。多摩市では、地域の方などからご協力いただき、避難に支援が必要な方の状況を把握して個別避難計画の作成の取組を進めています。【回答:防災安全課】

個別避難計画ってなあに？

災害のとき、一人ひとりが安全に避難するための計画です。

地震や大雨が起きたとき、介護を必要とする方や障がいのある方などの中には、一人で避難することが難しい方もいます。そんな方たちが安全に避難できるように、「いつ・どこへ・だれと・どのように避難するか」をあらかじめ考えておくのが「個別避難計画」です。



「個別避難計画」の対象となる人は、

- ・障害があり支援が必要な人
- ・介護が必要な人
- ・重い病気があり支援が必要な人

などです。



- ・誰が手伝う？
- ・どんなことに気を付ける？
- ・どこへ避難する？
- ・必要な薬や持ち物は？

例えば… 一人暮らしのおじいさん

足が不自由で、階段を一人で登り降りすることが難しい。

⇒個別避難計画では

- ①避難先 ○○小学校
- ②手伝う人 近所の多摩さん
- ③気を付けること 杖を持って避難 など



例えば… 車いすを利用している方

段差や階段があると移動が難しい。

⇒個別避難計画では

- ①手伝う人 家族や支援者
- ②移動方法 車 など



— 市が進めていること —

市は、避難するときに手助けが必要な人が安全に避難できるよう、地域の皆さんと協力し、一人ひとりに合わせた避難の計画づくりを進めています。



— 皆さんにできること —

- ・自分の命を守る行動を覚える
- ・家族で避難場所を確認する
- ・防災訓練に参加する
- ・近所のお年寄りや困っている人に声をかける

令和7年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



多摩永山中学校



4 質の高い教育を
みんなに



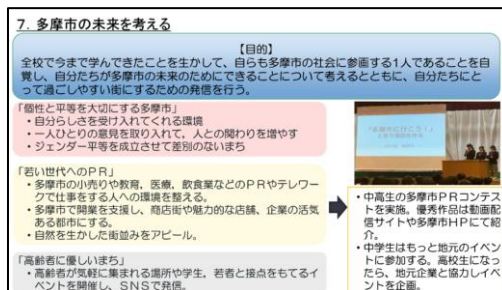
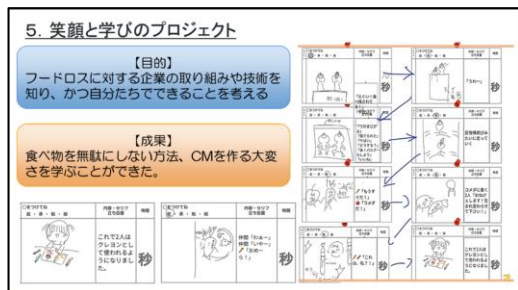
永山小学校



瓜生小学校



多摩永山中学校区



生徒からの提案①

○中高生による多摩市のPRコンテストを実施し、若い世代に多摩市のPRをしてほしい

- ・優秀作品は動画配信サイトや多摩市HPにて紹介する
- ・自然を生かした街並みをアピール

提案に対する多摩市の回答①

動画PRのご提案をありがとうございました。若者のメディア接触時間の7割超がデジタルである今、効果的なPR方法だと思います。

多摩永山中学校の皆さんがまとめた資料も読ませていただきました。自分たちが発信に参加することで、地域の一員であることを体験・自覚するという視点も大変素晴らしいものでした。多摩市を応援してくれる人を増やし、その発信が周囲や同世代へ広がっていくことで、シビックプライドの醸成にもつながる意義ある企画だと感じました。

PRコンテストではないですが、令和7年度は市のPR動画や広報紙、SNSに出演してもらえる広報モデルの公募を始めて、市民の皆さんに情報発信に参加していただく取組を始めました。

また、市の公式Instagramを市内の高校生に乗り取ってもらい、学生の目線で見た多摩市の魅力を発信してもらう企画や、過去にはInstagramに投稿した多摩市の画像をコンテスト形式で選び、ポスターにして駅に掲載する取組も行っています。

皆さんの「若い世代が参加しながら多摩市の街並みをPRしていく」という、まさに私たちもやっていきたいと思っていた趣旨を反映させて、今後も広報モデルの発信やSNSで情報発信するようなコンテスト企画・場の提供などを行っていききたいと思います。

皆さんもぜひSNS等を通じて、まちの魅力を動画や写真でPRしたり、多摩市の広報部員として私たちと一緒に多摩市を盛り上げてくれたらうれしいです。【回答:秘書広報課】



▲Instagram
乗り取り企画の投稿



▲多摩市シティセールス動画

生徒からの提案②

○若い人が働きやすい街づくりを進めてほしい

- ・多摩市の小売りや教育、医療、飲食業などのPR
- ・テレワークで仕事をする人への環境を整える
- ・多摩市で開業を支援し、商店街や魅力的な店舗、企業の活気ある市にする

提案に対する多摩市の回答②

ご提案ありがとうございます。

多摩市としても、若い人たちに「多摩市で働きたい」「多摩市で暮らしたい」と思ってもらえるまちづくりは、とても大切だと考えています。また、皆さんからいただいた「若い人が働きやすいまちにしてほしい」という提案は、多摩市が進めているまちづくりの考え方と同じ方向です。

多摩市では、市内のお店や会社の魅力を多くの人に知ってもらうため、さまざまなイベントを通じてPR活動を行っています。これからも、多摩市の魅力をたくさんの人に伝えていきます。

また、テレワークで働く人が利用できる仕事場(コワーキングスペースなど)の利用を応援する取組も行っています。

さらに、多摩市で新しくお店や会社を始める人に対して、事務所を借りる費用の一部を支援するなど、多摩市でチャレンジしやすい環境づくりを進めています。

若い人が働きやすいまちになるためには、働く場所だけでなく、買い物や子育て、学びやすい環境なども大切です。皆さんからいただいたアイデアを参考にしながら、これからも魅力あるまちづくりを進めていきます。

【回答：経済観光課】



▲異業種交流会の様子

生徒からの提案③

- 高齢者に優しい街、高齢者が安心して住める街づくりを進めてほしい
- ・高齢者が気軽に集まれる場所で、学生、若者と接点を持てるイベントを開催し、SNSで発信

提案に対する多摩市の回答③

ご提案いただいた高齢者に優しい街、高齢者が安心して住める街は、多摩市としても実現したい街の姿です。

皆さんのように優しい気持ちを持った人達が街にあふれば、高齢者の皆さんも楽しく、安心して暮らし続けることができると考えています。

世代を超えた交流イベントはこういった街の姿を実現するために有効な手段の一つだと思います。

地域のお祭りやイベントには高齢者も多く参加していますので、皆さんも積極的に参加いただけるとうれしいです。

高齢者がいつまでも生きがいを持ち、安心して住み続けることができる街づくりを進めるため、多摩市では地域とつながりを持ちながら介護予防などの活動に取り組めるよう、地域介護予防教室や近所de元気アップトレーニングといった住民主体の活動に対する支援を行っています。

世代を超えた交流は支え合いの促進につながるとともに、高齢者の充実・安心した生活を実現する上でも重要な取組と考えられますので、情報発信の方法を含め、必要な取組を検討していきます。

【回答：高齢支援課】

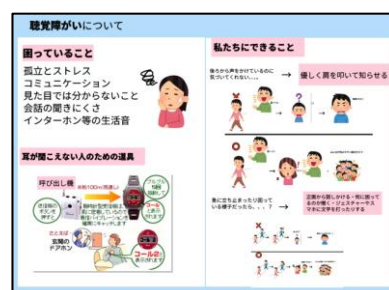
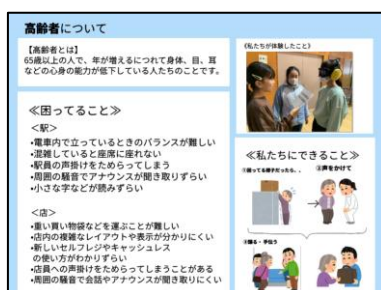
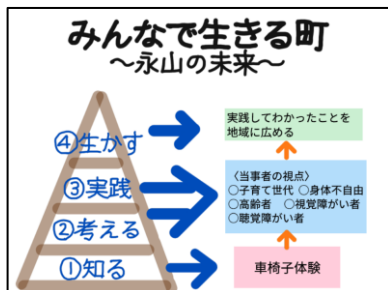


▲地域介護予防教室の様子



▲近所de元気アップトレーニングの様子

当事者の視点に立ち、思いやりある行動を地域に広げることが大切。お互いを尊重し、誰もが住みやすい街づくりをしよう。



児童からの提案

〇さまざまな立場の人々(子育て世代、高齢者、肢体不自由、視覚障がい者、聴覚障がい者)がどのように困っているかを調べ、全体的に支援してほしい

提案に対する多摩市の回答

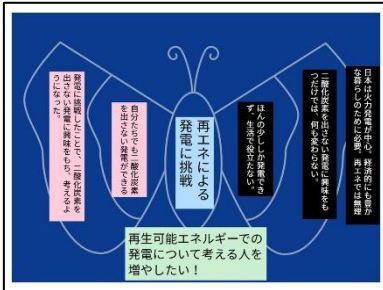
多摩市では、まちの人が安全・安心に生活するため、いろいろな計画にもとづいた取組を行っています。計画は、子育てや子どもに関するもの、高齢者に関するもの、障がい者に関するものなど、困りごとの種類ごとに作っていますが、計画を作るときにはまちの人にアンケートをとったり、専門家の意見を聞いたりしながら、どんな取り組みが必要か考えています。

高齢者に関する計画と障がい者に関する計画は、どちらも令和8年度に作り直す予定です。作り直すにあたって、それぞれ令和7年度又は令和8年度に調査を行って、高齢者や障がい者の方々がどのようなことで困っているのかお聞きします。調査で聞いたお話を参考にしながら、皆さんが多摩市で安全・安心に暮らしていくためにどのような取組が必要か考え、市民の皆さんにもご意見を聞きながら計画を完成させる予定です。子育てや子どもに関する計画は令和6年度に同じように作り直しました。それ以外でも、まちの人の声を聞く仕組みや、議会に希望を出す仕組みでも、困っている人の声を集めています。

まちの人たちの困っていることは多摩市の取組だけでは解決しないこともたくさんあります。皆さんの周りで困っている人を見かけたら、できる範囲でお手伝いをしてあげてください。【回答:福祉総務課】



STOP！地球温暖化！再生可能エネルギーによる電力の地産地消や各学校の窓に遮熱・断熱シートを貼ることで、環境に優しい未来を。



未来のまちづくり

【市への提案】

- ・電力の地産地消

- ・遮熱・断熱シートを、各学校の窓につける。

☆暑い時期も、シートなしより涼しい。

☆エアコンの設定温度も

下げすぎなくてすむ

ので環境に優しい！



未来のまちづくり

【自分たちにできること】

- ・遮熱・断熱、節電など環境に優しい生活でくらしを守る努力をする。
- ・再生可能エネルギーによる発電、エネルギーの地産地消など、これからの発電について考え続ける。



児童からの提案①

○再生可能エネルギーでの発電について考える人を増やしたい

- ・これまで通り、電力の地産地消に力を入れてほしい

提案に対する多摩市の回答①

環境やエネルギーについて、よく調べて考えてくれていることが伝わりました。

多摩市では、2030年までに二酸化炭素(CO2)を出す量を半分に減らすことを目指しています。そのために、学校などの公共施設で、太陽光などの再生可能エネルギーでつくられた電気を使う取組を進めています。

また、公共施設を工事するときには、太陽光パネルを設置できるかどうかを考え、設置できる場合は取り入れるようにしています。

さらに、唐木田駅の近くにある清掃工場では、ごみを燃やすときの熱を使って電気をつくっています。その電気を市の公共施設で使うことで、「市内でつくった電気を市内で使う」電力の地産地消にも取り組んでいます。

令和7年度は、皆さんの家庭に配る「たま広報」で、家庭でできる省エネの工夫を紹介しました。例えば、毎日のくらしの中で少し気を付けるだけで、使う電気を減らし、CO2を減らすことにつながります。

マンションなどでは、太陽光パネルを自分で設置することがむずかしい場合もあります。しかし、電気の契約を見直すことで、再生可能エネルギーでつくられた電気を選ぶ場合があります。こうした方法でも、CO2を減らすことに協力できます。

これからも、再生可能エネルギーで電気をつくることの大切さや、市内の家庭でできる再生可能エネルギーや省エネの取組について、子どもから大人まで分かりやすく知ってもらえるように、広報やホームページなどで紹介していきます。

【回答:環境政策課】



児童からの提案②

○各学校の窓に遮熱・断熱シートを取り付けてほしい

- ・暑い時期も、シートなしより涼しい
- ・エアコンの設定温度も下げすぎずにすむので環境に優しい！

提案に対する多摩市の回答②

学校の暑さ対策に興味を持っていただき、また具体的なご提案ありがとうございます。

また、瓜生小学校の皆さんが、地域の方々や保護者の皆さんと力を合わせて、教室の窓に遮熱・断熱フィルムを貼る活動をしてくれたことを大変うれしく思います。皆さんが「自分たちの学校をもっと良くしたい」という思いを行動に移してくれたことは、とても意義のあることです。

多摩市では現在、小学校・中学校の教室で、実際に遮熱・断熱フィルムを窓に貼り、どのくらい暑さを和らげることができるのかの効果を調べています。

また、フィルムの他にカーテンなど、どのような方法が環境にやさしく、快適に学ぶことができる環境が整うか研究しています。

ご提案いただいた窓に取り付ける遮熱・断熱シート（フィルム）は、窓から入る熱を抑え、教室の暑さを軽減する効果が期待できます。また、エアコンの使用を抑えることができれば、省エネルギーや環境への配慮にもつながります。暑さ対策にはさまざまな方法がありますが、これからも快適に過ごすことができる学校づくりを進めていきます。

今後とも、皆さんからの意見を大切にしながら、より過ごしやすい学校施設の環境改善ができるよう取り組んでいきます。【回答：教育振興課】



▲▼遮熱・断熱フィルムの設置イメージ



シビックプライドってなんだろう？

みんなもできる！多摩市の魅力発信3STEP！



皆さんは、多摩市の好きな場所や自慢できることをいくつか思い浮かべることができますか？自分のまちを好きになり、「このまちっていいな！」と思う気持ちのことを「シビックプライド」といいます。多摩市の魅力を見つけて、「みんなにも知ってほしい！」と誰かに伝えることも、シビックプライドの大切な形の一つです。



STEP 1

気づく:まちの「いいね！」を見つけよう！



普段何気なく登校している遊歩道。多摩市内には約41kmもの歩車分離の遊歩道が張り巡らされていて、安全に学校まで行くことができる環境も魅力の一つです。

こんなことを探してみよう！

- ✓ 友だちと自然と集まる公園
- ✓ 誰かにおすすめしたい見晴らしのいい景色

STEP 2

好きになる:いいなと思う気持ちを大切に！

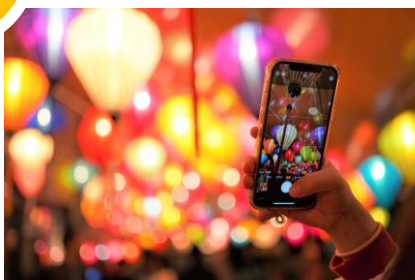
好きな場所や思い出が増えると、そのまちにもっと愛着がわいてきます。

- ✓ 家族で行ったイベント
 - ✓ 四季の移り変わりを感じた風景
- 何気ない日常も多摩市の魅力の一つです。



STEP 3

伝える:一緒に魅力を発信しよう！



写真を撮ってみたり、友だちや家族で話してみたり、SNSで発信してみたり。「この景色が好き！」「このイベントが楽しかった！」など、特別なことじゃなくてOK！みんなが発信した魅力が、もっと多くの人に多摩市を知ってもらおうきっかけになります。

一緒に「#多摩市広報部員」として発信してみよう！

多摩市では、Instagramで市の魅力を発信する「#多摩市広報部員」を募集中！みんなが見つけた多摩市の魅力を写真と一緒に紹介してみませんか？



令和7年度多摩市子どもみらい会議 提案と多摩市の回答



落合中学校



西落合小学校



東落合小学校



落合中学校区

多摩市のことや防災について、自分たちが知らないことを学び、SNSを活用して、多摩市の魅力や防災情報を発信し、安全安心な住み続けられる街にしていこう。

一人一人が防災について
考える街。



慌てず行動するために・・・

- ・家族と一緒に避難場所などを決める
- ・防災マップで、近くの危険な場所を調べる。
- ・地域のイベントなどにもできるだけ参加する。

2. 防災について...

🏠 日頃から防災についての情報収集をし、住民の一人一人が防災について意識し助け合う。

生徒からの提案

○防災について、広報の力をもっと強めたほうがいい

- ・幅広い世代が見られるように情報発信してほしい(LINE、X、Instagram等)
- ・多摩市の公式キャラクターのLINEスタンプを、市民に防災意識を高めてもらいたいことをテーマに作成し、無料で配布してほしい

提案に対する多摩市の回答

防災意識を高めるために、LINEやX、Instagramなどを使うというご提案は非常に良いアイデアだと思いました。また、防災をテーマにした多摩市のキャラクターのLINEスタンプをつくるという発想もおもしろいと思います。

多摩市では、防災に関する情報を、「公式ホームページ」や「メール配信サービス」、「公式LINE」、「公式X」等でお知らせする仕組みを整えています。

災害が起きたときだけでなく、日ごろから備えについて考えてもらうことが大切だと考えています。

これからも、より多くの市民の皆さんに情報を届けられるように、新しい情報発信のツールについて、いただいた提案を参考に考えたいと思います。

また、多摩市にある多摩清掃工場(多摩ニュータウン環境組合)では、既にLINEスタンプを販売しているので、このことも参考にしながら考えたいと思います。【回答:防災安全課】



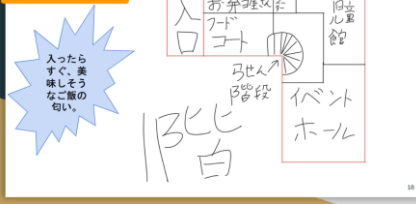
多摩市職員にゃんともTAMA三郎▶

2050年までにできることを考え提案した例

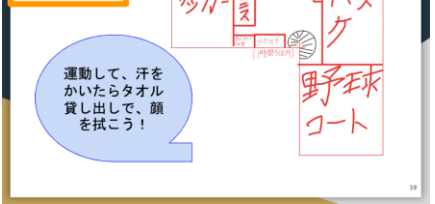
1. 地域の人とふれあい、イベントや行事などに参加しよう
2. 2050年の多摩市がもっと元気で魅力的になること
3. 道の凹凸



1 完成予想図



2 完成予想図



児童からの提案

いろいろな人が集まり、大人が仕事をしたり、子どもが仲良く遊べたりする、安心・安全な場所、仲良く触れ合う機会がほしいため、みんなが使える公共施設(イベントホール、児童館、フードコート、サッカー・テニス・バスケット・野球コート)を、「永山の空き地」に作ってほしい

提案に対する多摩市の回答

完成予想図をみると、たくさんの人が交流できる楽しい場所になるだろうと感じました。場所や費用、集客のことも考えていて、みんなが使える場所をつくろうとよく考えられた提案だと思います。

ニュータウン開発で人口が急増した多摩市は、他の市に比べて公共施設がとて多く、充実しているまちです。TOM HOUSEのような児童館やコミュニティセンターは市内の各地域にあり、中央図書館やパルテノン多摩、公民館、アクアブルー多摩やリフォームプライス多摩アリーナ(総合体育館)、武道館などの大型施設も含めて、多くの市民が公共施設を利用しています。それらの建設や運営には市民の皆さんが納める税金が使われているので、今ある公共施設を大切に使いしていきたいと考えています。

そのため、新しい公共施設をすぐにつくることは難しいですが、いただいた提案は、今ある公共施設をより使いやすくするためのアイデアとして参考にさせていただきます。

多摩市が新しい公共施設をつくるときは、皆さんが考えたように、どんな施設にしたいのか、どこにつくるのがよいか、どれくらいの費用がかかるのか、たくさんの人に利用してもらえるのか、今ある公共施設と何が違うのか、などさまざまなことを考えます。建設には市民の皆さんが納める税金をたくさん使うことになるので、多くの市民から意見を聞きながら進めています。今回、皆さんから提案をいただいたように、大人だけでなく小・中学生の皆さんからいただく意見はとても大切だと改めて感じました。今後とも小・中学生の皆さんからの意見を参考にしながら、多摩市がよりよいまちになれるように取り組んでいきます。

【回答:行政管理課】



▲公共施設イメージ

クラウドファンディングや募金で資金を集め、SNS、広報誌、多摩テレビによるスポーツ配信を行う。



児童からの提案

- ①多摩市に人が集まるようにアリーナを作してほしい(子育て世代・高齢者世代にも優しい施設)
・まちを盛り上げるために、そこで、障害の有無・年齢に関わらず参加できる、パラスポーツ体験イベントを開催してほしい
- ②クラウドファンディングや募金で資金を集め、SNS、広報誌、多摩テレビによるスポーツ配信を行う

提案に対する多摩市の回答

①多摩市には何千人も観客が入るようなアリーナはありませんが、多くの方がスポーツができるリフォームプライス多摩アリーナ(総合体育館)や武道館、陸上競技場などの施設があります。バリアフリー化しているので、障がいのある方でも利用しやすい施設です。リフォームプライス多摩アリーナや武道館では年齢、性別、障がいの有無に関わらず楽しめるボッチャを定期開催しているほか、どなたでも参加できる障がい者スポーツ体験教室やニュースポーツ体験教室を開催しています。

令和7年度に陸上競技場でだれでも参加できるインクルーシブスポーツイベントを開催しました。令和8年3月からはニュースポーツ体験教室に新たにモルックという種目を加えました。このようなイベントを今後も開催していく予定です。機会があればぜひ参加してください。

②税金の収入だけに頼らず資金を集める提案は、大切な視点だと思います。

多摩市では、公共施設の命名権を民間事業者に買い取ってもらう「ネーミングライツ」という制度を一部のスポーツ施設等で行い、買い取ってもらったお金はスポーツ施設の運営資金にしています。

スポーツに親しんでもらうため、スポーツ配信を行うのもよいアイデアだと思います。多摩市では、多摩センターのココリア多摩センターの壁面を利用し読売ジャイアンツの試合や、聖蹟桜ヶ丘のかわまちエリアで東京ヴェルディの試合を放映し、みんなで応援するパブリックビューイングを実施しています。もっといろいろな人に来てもらえる場所での開催も予定していますので、お友達や家族と一緒に、ぜひスポーツを楽しんでください。【回答:スポーツ振興課】



▲パブリックビューイングの様子

子若条例ってなあに？

「子若条例」ってどんな条例？



多摩市には、「子ども・若者の権利を保障し、支援と活躍を推進する条例（通称、「子若条例」。）」があります。

これは、すべての子どもや若者が自分らしく成長し、安心して暮らせるまちをつくるためのルールです。

この条例は、いじめや虐待、不登校、貧困などの問題がある中で、「誰一人取り残さないまち」を目指してつくられました。

子若条例が大切にしていること（基本理念）

子ども・若者の権利を守ること

困ったときに必要な支援を受けられること

自分の意見を伝えられること

まちづくりに参加できること

みんなが協力し、支え合うこと

条例では、子どもだけでなく、家族や地域の人、学校、市役所など、みんなで協力して子どもたちを支えることが大切だとしています。



多摩市は、「こどもまんなか」のまちづくりを推進するため、市民の皆さんに投票をしてもらい、令和6年にロゴマークを決めました。

ぼくたち、わたしたちの「権利」って？



子若条例では、子ども・若者には次のような権利があると定めています。
例えば、「学校のことについて意見を言う」「地域のお祭りやイベントに参加する」ことも、皆さんの大切な権利の一つです。

生きる権利

育つ権利

守られる権利

必要な支援を受ける権利

意見を表明する権利

まちづくりに参加する権利

挑戦する権利

挑戦を応援されながら成長する権利

困ったときは相談していい、自分の意見を言ってい

条例では、困ったことや悩みごとがあるときに、相談し、支援を受ける権利も大切にしています。一人で悩まず、周りの大人や相談機関に相談することが大切です。

また、市では、皆さんの意見をまちづくりに生かす取組を進めています。「子どもみらい会議」も、その取組の一つです。

皆さんの考えや提案は、より良い多摩市をつくる大切な力になります。

市の公式ホームページでも、皆さんとまちづくりを進めていくために、市の取組についての意見や提案を受け付けています。



市公式ホームページ▲

困ったときの相談先

こども家庭センター「にじたま」

(子どもと家庭に関する総合相談)

電話番号 042-355-3777
受付時間 月～土曜日(祝日・年末年始を除く)
午前9時～午後6時
住所 多摩市関戸4-19-5
相談内容 ふだんの生活やおうちのこと
など、なんでも

教育センター

(電話教育相談「子どもホットライン」)

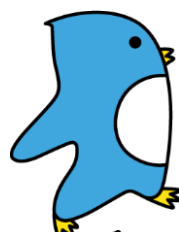
電話番号 042-372-2000
受付時間 月～金曜日(祝日・年末年始を除く)
午前10時～正午、午後1時～5時
相談内容 学校での悩みやいじめに関す
ることなど、なんでも

多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例の キャラクター紹介

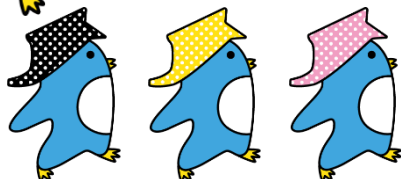
多摩市のかたちをしたキャラクターが、多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例（通称、「子若条例」。）を、いろいろなところでPRしています。



たまぺん



帽子が大好きな、
多摩市のかたちを
したペンギンだよ。



たましのび



いろいろな色に変
身する、多摩市
のかたちをした見習
いの忍者だよ。



子どもが創る 多摩市のみらい
令和7年度多摩市子どもみらい会議 提案への回答集
発行 多摩市、多摩市教育委員会
編集 多摩市子ども青少年部子ども・若者政策課
所在地 〒206-8666
東京都多摩市関戸6-12-1
電話番号 042-338-6904
FAX 042-372-7988
HP <https://www.city.tama.lg.jp/>
発行年月 令和8年9月

印刷物番号

8 - 2 3



子どもが創る 多摩市の未来
令和7年度多摩市子ども未来会議
提案への回答集

多摩市立小・中学校は、**全ての学校がユネスコスクール**に登録しています。